

薬局経営を強力にサポート

長期投薬患者の来局予測表示をはじめ 機能性・操作性が大幅に向上

“温もりのある薬局”をコンセプトに、東北エリアで20店舗の調剤薬局を運営するラッキーバグ株式会社。同社では、パナソニックヘルスケアの保険薬局用電子薬歴システム Pharnes シリーズを全店で導入している。今年5月、山形県東根市に開局した「おおもり薬局」では、最新型の「Pharnes III-MX」を活用。その機能性・操作性を高く評価している。

東北エリアで調剤薬局を展開するラッキーバグ株式会社を大橋一夫氏（薬剤師）が創業したのは1999年。山形県新庄市で第1号店を開局したのを皮切りに、これまでに山形県で11店舗、岩手県で8店舗、秋田県で1店舗の計20店舗を展開。年内には、山形県でさらに2店舗の開局を予定している。

「気軽に立ち寄って何でも相談でき、自宅にいるような安心感を覚える“温もりのある薬局”にしたい——。そう考えて、薬局の運営に努めてきました。理想の実現のためには、個々の薬剤師に、薬剤の専門家としても人間としても成熟してもらうことが必要です。そのため、研修会への参加や学会発表を積極的に推進・奨励しています」

こう語る大橋氏は、さらに「地域ならではの視点に立った医療サービスを提供したい」との考えで、さまざまな取り組みを行っている。セルフメディケーションを支えるOTC薬の品揃えを充実させていることもその一つ。

「OTC薬を自分で手にとって確かめたり、専門知識を持った顔なじみの人から買いたいと思っている方は多いです。地方では、近くにドラッグストアやコンビニエンスストアがない地域もありますから、調剤薬局はOTC薬にも注力すべきだと考えています」と



ラッキーバグ株式会社
代表取締役・薬剤師
大橋 一夫 氏

大橋氏。さらに、売れたOTC薬が自動的に発注される仕組みも作り上げた。その地域で望まれるOTC薬を確実に揃えることができ、売れ残りの回避にもつながっている。

また、小児科医院の近隣の店舗ではドライブスルーを設置。具合の悪い子どもが車から降りずに済むようにした。

岩手医科大学と連携し、同大学6年生を対象とした薬剤師国家試験対策講座も2014年5月から開講。講師は薬学博士号を持つ同社社員が務める。これも、人材難に陥りがちな地方で質の高い薬剤師を育てる同社独自の試みだ。

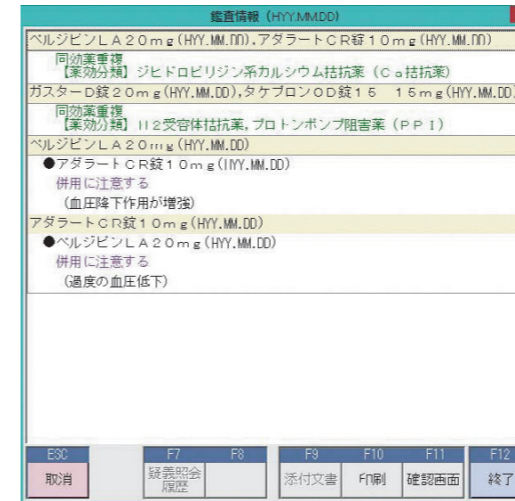
IT機器・システムに対する投資も惜しまず、各店舗でPharnesシリーズを導入している。

「薬歴の作成は、薬剤師の業務の中でも重要な仕事です。使いやすく多彩な機能を持つPharnesシリーズを活用することで、効率的に薬歴を作成することができ、よりの確な服薬指導が行えるようになります」と大橋氏。また、薬局経営をサポートする機能が充実している点も、同シリーズ導入の決め手の一つだったという。例えば、オプションのPh-NetMasterを利用すれば、本部と各店舗をインターネットで結び、効率的な在庫管理を行うことが可能になる。今後は、こうした機能も活用していきたいと大橋氏は話す。

鑑査支援機能は
抗生物質の切り替え時にも有用

同社が今年5月に開局したのが、山形県東根市神町にある「おおもり薬局」。東根市は、山形県中央部に位置し、人口は約4万7000人。県内で人口が増加している唯一の市町村だ。果樹栽培が盛んで、交通網の整備や新興住宅地の開発が進んでいる。

「来局する患者さんの多くが子どもで、現在応需している処方せん枚数は



図：重複チェックでは同効薬や配合剤の成分の重複にも対応している

1日30～40枚ですが、風邪やインフルエンザ、花粉症が流行する季節はさらに増えることが予想されます。近隣に小児科クリニックがあるためドライブスルーも設置しています。『車に乗ったままで楽』と評判が良く、全体の6～7割はドライブスルーでの利用です」と同薬局管理薬剤師の佐藤悠人氏は語る。

同薬局では開局当初から「Pharnes III-MX」を活用。すでに「なくてはならない電子薬歴システム」（佐藤氏）となっている。

「Pharnes III-MX」は、フルHD（1920×1080ピクセル）に対応。ワイド画面のディスプレイで高精細に表示されるため、一覧性と見読性が向上したPharnesシリーズの最新型だ。ワイド画面になったことで、今回処方と過去4回分の調剤内容、指導内容を同時に表示することが可能になった。

「処方の変遷のチェックが容易なうえ、必要な情報を一画面で把握できるため、非常に便利です。前回から調剤内容が変更された部分が色つきで分かりやすく表示される点も、スピーディーな確認に役立っています」と佐藤氏は「Pharnes III-MX」を高く評価する。

鑑査支援機能が搭載されているのも便利だという。処方薬や疾患から鑑査情報が表示されるほか、重複チェックでは同効薬や配合剤の成分の重複にも対応。よりの確な重複投与チェックを行うことが可能だ。特に、抗生物質の切り替え時に有用だと佐藤氏は指摘する（図）。

疑義照会が必要な場合も、テンプレートを活用することで薬歴への記入が容易になり、短時間で済むようになった。

「過去の疑義照会履歴を参照できるため、不要な疑義照会を防げる点も有用だと思います」（佐藤氏）

長期投薬患者の
来局予測表示機能も活用

医薬品に関する豊富なデータベースを持つことも「Pharnes III-MX」の特長の一つだ。中でも佐藤氏は、相互作用/副作用チェックデータベースや添付文書PDFデータベース、OTC添付文書PDFデータベースなどが便利だと話す。

また、長期投薬患者の来局予測表示機能も有用性が高いという。

「慢性疾患を抱える高齢の患者さんに処方されている薬剤をあらかじめ確認・準備できるため、非常に便利です。また、医薬品の在庫管理にも活用できます」（佐藤氏）

お問い合わせ

パナソニックヘルスケア株式会社
マーケティング本部 メディコム営業統括グループ
〒105-8433 東京都港区西新橋2丁目38番5号 西新橋MFビル
TEL: 03-5408-7287(代表) <http://panasonic.biz/healthcare/medicom/>



おおもり薬局 管理薬剤師
佐藤 悠人 氏

操作性も良好だと佐藤氏は評価する。「ハイリスク薬指導画面を開いたり、乳幼児加算の算定を行うのもワンクリックで済むのがいいですね。後会計もボタンをクリックするだけなので、事務スタッフからも『使いやすい』と好評です」将来的には、オプションの訪問支援接続ソフトも在宅業務に利用したいという佐藤氏。「Pharnes III-MX」の機能性・操作性に、しっかりとした手ごたえを感じている。

おおもり薬局
山形県東根市神町北3-2-12

【職員】常勤薬剤師2名、医療事務3名